

高岡市中心市街地活性化基本計画の概要

～400年の資産を守り、育み、繋ぐ～

高岡市 産業振興部 商業雇用課

1. 高岡市の概要

高岡市は、人口約18万人、面積約210km²で富山県の北西部に位置する県内第2の都市です。奈良時代には越中国府が置かれ、大伴家持が国守として当地に赴任し、多くの秀歌を万葉集に残しています。

近世に入って加賀藩前田家2代目当主前田利長公が築城し、城下町として現在の高岡の基礎を築きました。一国一城令により高岡城が廃城となったものの、3代目当主前田利常による商工振興策や町民らの努力により商工業を中心とする町人の町として発展し、銅器、漆器、仏壇、仏具などの伝統産業を生み出しました。

明治以降は伏木港の発展とともに重化学工業、木材・紙・パルプなどの工業集積が形成され、戦後は、アルミ産業へと発展し、日本海側有数の産業都市として発展し、現在に至っています。

2. 基本計画の策定

本市は、戦災の影響がなかったことから、現在でも中心市街地には瑞龍寺（国宝）、山町筋（重要伝統的建造物群保存地区）、高岡古城公園（高岡城跡、県指定史跡）、高岡御車山祭（重要有形・無形民俗文化財）といった伝統行事など、数多くの歴史・文化資産が集積しています。

その一方、大型店の台頭やマイカー普及率の向上等により市民の生活様式も変化し、中心商店街のにぎわいが失われてきました。このため、平成12年に中心市街地活性化基本計画を策定し、中心商店街における図書館、高校、ホテル等からなる新たなにぎわい拠点「ウイング・ウイング高岡」の再開発事業を核とし、国宝瑞龍寺をはじめとする歴史・文化資産を生かしたまちづくりを進めてきました。

平成18年の法改正により、これまでの取り組みに対する評価や課題等を整理し、新たな基本方針に基づき、中心市街地の活性化を推進しております。

○基本方針

世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり

便利で住みよく快適なまちづくり

活力と賑わいあふれるまちづくり

3. 中心市街地の位置及び区域

総合計画や都市計画マスタープランなどの上位計画や関連計画において、中心市街地と位置付けた約340haを区域としました。JR高岡駅を含む北陸本線を境に、北側は、約400年前に形成された中心市街地とほぼ重なる区域で、南側には国宝瑞龍寺と前田利長墓所をつなぐ八丁道までを含む区域となっています。



4. 中心市街地活性化の目標

選定した区域は、高岡の町立ての基本となるエリアで、1609年の開町以降の歴史と文化を最も色濃く残し、それ

を感じることでできる地域となっています。また、コミュニティバスや路面電車などの公共交通機関が充実しているほか、市街地再開発事業による都市福利施設、古城公園という大きな憩いの場があり便利で快適な日常生活を営めることでできる地域でもあります。

高岡の開町以来 400 年の歴史・文化資産を生かし、現代的な都市機能に満たされた居心地の良さと賑わいを創出し、それらが調和よく織り合わさった高岡の地域特性を活かしたまちづくりに取り組むこととしました。

①世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり

主要観光施設における観光客入込数（人）を、開町 400 年記念事業実施年レベルを目標

- ・ 基準値 117 万人（H 22）
- ↓ 18% 増
- ・ 目標値 138 万人（H 28）

②便利で住みよく快適なまちづくり

中心市街地における居住人口（人）を指標

- ・ 現状 16,360 人
- ↓ 約 6% 減
- 予測値 15,374 人（平成 28 年度末）
- ↓ 約 7% 増
- ・ 目標 16,500 人（平成 28 年度末）：約 1% 増

③活力と賑わいあふれるまちづくり

中心商店街 6 地点における平日、休日の歩行者・自転車通行量の平均値（人）を指標

- ・ 現状 11,700 人（H 22）
- ↓ 約 27% 増
- ・ 目標 14,900 人（H 28）



〔金屋町楽市〕



〔御車山祭り〕

城公園の園路整備や水濠の水質改善に取り組むなど、憩いの場としての古城公園の整備を図ります。

5. 目標を達成するための主な事業

①世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり

金屋町では、市内 2 地区目となる重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け準備を進めます。また、金屋町の町家と通りで、工芸作品を展示・販売する“金屋町楽市”を開催することで、金屋町に賑わいを創出し、来街を促します。

山町筋では、重要有形・無形民俗文化財に指定されている高岡御車山を通年展示し、祭りを紹介する御車山会館を整備します。また、高岡の伝統工芸技術の粋を集めた平成の御車山を制作します。

高岡古城公園では、国指定史跡に向け発掘調査や文献調査等の高岡城跡の詳細調査を行っています。また、古



〔高岡古城公園〕

また、新幹線新駅から瑞龍寺、山町筋などを經由して金屋町までのエリアにある歴史的風致地区（高岡独特の風

情やたたずまい) への回遊性を創出するため、歩いて楽しめるストリートづくりを進めるなど、歴史都市認定を契機として、歴史的建造物や伝統文化、工芸技術といった本市固有の特長を活かした取組みを強化することで、交流人口の拡大を図ります。

②便利で住みよく快適なまちづくり

まちなかで新築や住宅の購入、分譲マンションの購入者等に支援する“まちなか居住支援事業”を継続します。また、新たに中古住宅購入も助成対象とし、支援を拡大しました。さらに、まちなか共同住宅建設促進事業を活用した民間投資の共同住宅建設の促進を図ります。

都心エリア土地利用検討調査では、郊外への転居や店舗閉店などによるまちなかの空洞化の進行等、中心市街地の諸課題を整理し、木造密集市街地の防災対策や街区単位の整備など、効果的な土地利用を図るよう検討します。

また、高岡子育て支援センターやウイング・ウイング高岡内にある市立中央図書館、生涯学習センターの運営を進め、子育てや学びやすい環境の充実に取り組むとともに、朝市・夕市などの日常生活品の買い物の利便性向上を図り、快適な居住空間を創出し、まちなか居住を推進します。



〔子育て支援センター〕

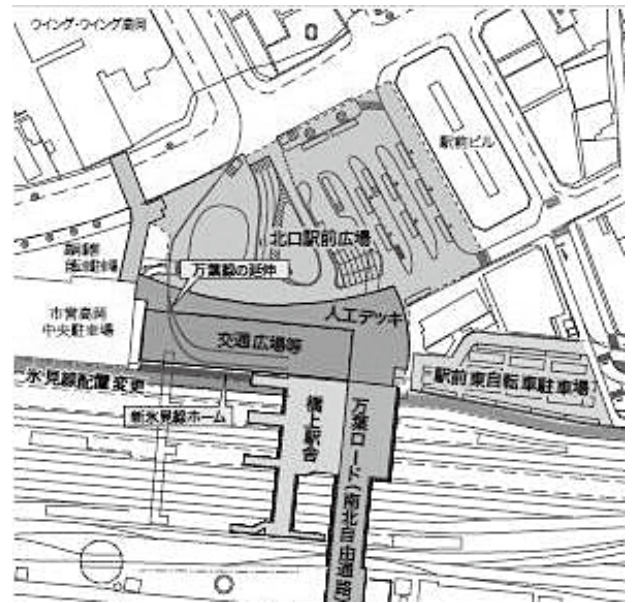
③活力と賑わいあふれるまちづくり

高岡駅周辺整備では、駅前広場の拡張や南北自由通路

からウイング・ウイング高岡をつなぐ人工デッキの整備などにより高岡駅前の利便性向上を図ります。同時に、新高岡ステーションビルの建設や駅前地下街のリニューアル事業を進め、商業施設としての拠点性も高めます。

歩いて楽しいまちづくりに向け、高岡駅から中心商店街を通るルートでは、通りの特長を活かした商店街の顔づくりのための事業に取り組み、中心市街地の賑わい創出を図ります。

また、空き店舗を活用した開業や店舗リニューアルの取組みに支援し、商業空間としての中心商店街の魅力向上に努めます。



〔高岡駅周辺整備事業〕

6. おわりに

高岡市は、平成 27 年春の北陸新幹線の金沢開業を活かすため、豊富な歴史・文化資産やものづくりの伝統に支えられた歴史都市・高岡の強みを磨き、活かすことでまちの魅力、存在感を高めたいと考えており、そのための重要な施策として、本計画で位置付けた事業を着実に推進していきます。